高崎市の支え合いのあゆみ、高崎市の協議体

A: 高崎市としての事業開始からの経緯、地域の特性を踏まえた2層協議体発足の手法や第1層協議体の位置 づけを説明している。B・C:協議体が行ってきたい機能や創出された活動を写真を踏まえて紹介している。



高崎市の支え合いのあゆみ

みんなでつなごう支え合いの輪!

事業に対する理念

1 住民主体の支え合い活動を 体制整備により生み出す

自分ごととしてとらえる意識へ 主体的・自律的な基盤づくり 地域人材と社会資源を掘り起こし できること・できること探し

2 地域・市民の提言を施策へ つなげる仕組みをつくる

高崎市概要



体制整備事業のあゆみ











各協議体で 「目指す地域像」を決定 協議体のあり方検討も 行っている

支え合い活動実施





第2層協議体 発足過程

平成 27 年 7 地区 平成 28 年 13 地区 平成 29 年 6 地区

26 協議体が成立



第1層協議体(市全域)(平成30年5月発足)

第2層協議体会議(日常生活圏域 26 カ所)						
群馬 (なのはな)	八幡	乗附	南八幡	中居•矢中	豊岡	長野
群馬 (さくら)	新町	城東・東部	佐野	北・西・東	寺尾・城山	箕郷
榛名	倉渕	新高尾•中川	倉賀野	岩鼻	六郷・北部	吉井
片岡	高松	京ケ島・滝川	浜尻•塚沢	大類		

1層2層は上下関係ではなく、相互に連携・協働

支え合い創出 ネットワークづくり



高崎市は地域住民が自分の住む地域が「こうなったらいいよね」という 思いで話し合い、その実現に向けてみんなで頑張っています!!